



マグフレンズ [ホワイトボード・黒板] 施工手順書

[2016.12 版]

ISHIYAMA

施工前に必ずお読みください。

「マグフレンズ」(ホワイトボード・黒板)注意事項

取扱上のご注意

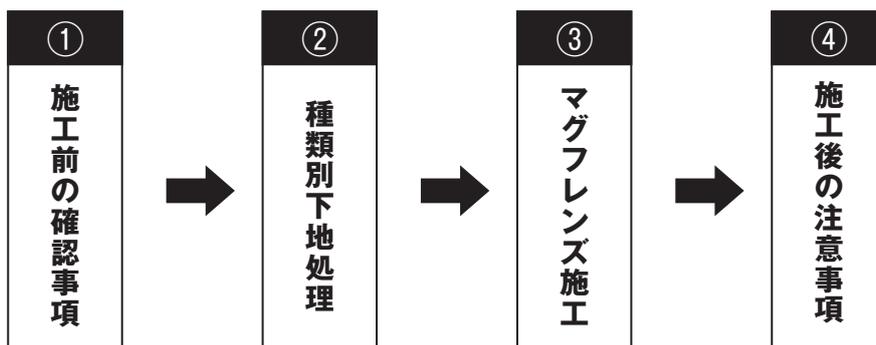
- 施工に使用する製品に関しては、各製品の使用方法、注意事項を必ず読み、十分にご理解の頂いた上でご使用ください。
- 施工前に施工説明をよく読み、正しく施工してください。
- 「マグフレンズ」は**屋内専用**です。
- 火の近くなど、高温・多湿の場所へのご使用は避けてください。
- 本製品はマグネットではありません。
- 本製品は鉄粉を含んだゴムシートが素材です。冷蔵庫等製品と比較すると保持力は20～30%位とお考えください。
※**マグネットを選ばれる際は強力マグネット(ネオジウムマグネット)を使用してください。**
- 電子機器、医療機器、精密機器、磁気製品、時計等に粘着させないで下さい。粘着させるだけでは影響はありませんが、磁石部品をくっつけてご使用の際に相手側の機能を失う可能性があります。

マグフレンズ施工の上でのご注意

- 壁紙の上から施工すると糊が吸い込まないので、**ハガレ・フクレの原因**になります。すでに壁紙が貼られている場合は**必ず設置部分の壁紙を剥がして下地の上から施工**してください。
- 接着剤を塗布する際は**均一になるように丁寧に塗布**してください。**均でない場合オープンタイムを取っている間に薄い箇所は乾燥して本製品の裏面(接着側面)とは接着せず、その箇所が施工後のフクレの原因**となります。
- 本製品はゴムシートのため吸水性・通気性が乏しいので、**通常の壁紙のエア抜き以上に慎重**に行ってください。
- **櫛目ゴテ等のみの塗布ですと施工後凹凸が目立ちます。ローラーで均一に塗りのぼして**ください。
- 「種類別下地処理」に記載している下地以外については、糊の水分の逃げ場がない等、**ハガレ・フクレが起こる場合があるので施工は避けて**ください。施工を避けられない場合には**施主様や依頼主様にはハガレ・フクレの可能性**がある事を**事前に必ず確認**してください。
- マグフレンズ、特にホワイトボードタイプは表面にツヤがあり光を反射するので、貼りあがった後、表面からも**下地の凹凸が目立ちますので不陸調整のパテ処理は必ず丁寧に**行ってください。
- 施工する際は、表面に傷が付かないようにご注意ください。

施工の流れごとの施工方法をよく読み、施工してください。

施工の流れ



① 施工前の確認事項

- 施工は**5℃以上**で行ってください。
- 本製品はロール状になっているので、あらかじめ**巻きぐせ**を取ってください。
- マグフレンズは**0.6mmの厚さ**があります。壁紙より厚さがあるので副資材としてコーディネートモールドを推奨しています。

副資材：参考商品

■コーディネートモールド【メーカー：トキワ産業株式会社】

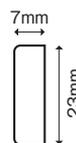
• 回り縁 長さ2m

カラー	品番
ホワイト	TWF601
ライト	TWF602
ミディアム	TWF603
ダーク	TWF604



• モール 長さ2m

カラー	品番
ホワイト	TWF605
ライト	TWF606
ミディアム	TWF607
ダーク	TWF608



- 施工する下地に対して下記の表から本製品が適している商品が必ず確認してください。
- 施工する下地に対して下記の表から接着剤が適している商品が必ず確認してください。
- 下地の種類によっては施工できない場合や、下地調整に思いのほか時間や経費が掛かる場合もあります。

下地別「マグの相方・マグフレンズ」適合表

	マグの相方 糊なし	マグの相方 糊付き	マグフレンズ ホワイトボード	マグフレンズ 黒板
石膏ボード	○	○	○	○
ケイカル板	○	×	○	○
ベニヤ	○	×	○	○
ラワン合板	○	×	○	○
コンパネ	○	×	○	○
コンクリ	○	×	○	○
モルタル	○	×	○	○
繊維壁	○	×	○	○
じゅらく	○	×	○	○
珪藻土	○	×	○	○
水性ペンキ塗装	×	○	×	×
油性ペンキ塗装	×	○	×	×
ジブトーン	×	○	×	×
焼付塗装鉄板	×	○	×	×
化粧合板	×	○	×	×

マグの相方下地別 接着剤・調整材・補強材 適合表

	下地用接着剤		下地調整材・補強材	
	プラゾールSS ヤヨイ化学工業(株)	ウォールボンドEV-30 ウォールボンド工業(株)	シーアツプ ヤヨイ化学工業(株)	シーラーセットアツプ ウォールボンド工業(株)
石膏ボード	○	○	○	○
ケイカル板	○	○	○	○
ベニヤ	○	○	○	○
ラワン合板	○	○	○	○
コンパネ		○		○
コンクリ		○		○
モルタル	○	○	○	○
繊維壁		○		○
じゅらく		○		○
珪藻土		○		○

※上記の適合表はあくまで「マグフレンズ」との適合を示すものであり、他の材料との適合を示すものではありません。

② 種類別下地処理

事前確認

- ① 施工前に下地が確実に固定されているか確認してください。
- ② 下地に油汚れやサンダー処理後の粉などが残っている場合は取り除いてください。
- ③ 下記の該当する下地を確認して、それぞれの手順に沿って下地処理を行ってください。

石膏ボード下地(露出した下地)

- ① ボード継ぎ目や不陸部など、適宜必要に応じてパテ処理を行ってください。
- ② パテを塗布した部分が完全に乾燥後、下地全面にシーラーセットアップ(ウォールボンド工業)を3倍希釈し塗布、またはシーアップ(ヤヨイ化学工業)を4倍希釈し塗布してください
- ③ 完全乾燥させてください。
※「ブラゾールSS」または「ウォールボンドEV-30」にて施工してください。

貼り替え下地：クロスの裏紙が残っている場合

- ① 既存の壁紙の裏紙の浮き具合を確認。水を霧吹きなどとしてみて、浮きが激しい場合はすべて剥がしてください。
- ② 裏紙がほぼしっかり残っている場合は、適宜必要部分にパテ処理を行ってください。
※裏紙をほとんど取り除いた場合 ⇒ 露出した下地の手順に従って処理してください。
- ③ パテを塗布した部分が完全に乾燥後、下地全面にシーラーセットアップを3倍希釈し塗布してください。
- ④ 完全乾燥させてください。
※「ブラゾールSS」または「ウォールボンドEV-30」にて施工してください。

ケイカル板・ベニヤ・ラワン合板下地

- ① 下地全面にシーラーセットアップ(ウォールボンド工業)3倍希釈し塗布してください。
※ベニヤにおいて、シーラー塗布時に木目が大きく膨らむ部分があれば取り除いてください。
- ② 下地に不陸がある場合は、乾燥後パテ処理を行ってください。
- ③ パテを塗布した部分が完全に乾燥後、パテの上にシーラーセットアップを3倍希釈し塗布してください。
※吸い込みが激しい下地やアクが強そうな下地の場合は、パテ上だけでなく全面に塗布してください。
- ④ 完全乾燥させてください。
※「ブラゾールSS」または「ウォールボンドEV-30」にて施工してください。

コンパネ・コンクリ・モルタル下地

- ① 下地全面にシーラーセットアップ(ウォールボンド工業)3倍希釈し塗布してください。
※コンパネにおいて、シーラー塗布時に木目が大きく膨らむ部分があれば取り除いてください。
- ② 下地に不陸がある場合は、乾燥後パテ処理を行ってください。
- ③ パテを塗布した部分が完全に乾燥後、パテの上にシーラーセットアップを3倍希釈し塗布してください。
※吸い込みが激しい下地やアクが強そうな下地の場合は、パテ上だけでなく全面に塗布してください。
- ④ 完全乾燥させてください。
※「ウォールボンドEV-30」にて施工してください。

繊維壁・じゅらく・珪藻土など塗り壁下地

- ① 下地の状態の確認。軽く触って塗り材が落ちる場合や、濡らしてはがれやすい場合はできるだけ取り除いてください。
※塗り材を完全に落とした場合 ⇒ 露出した下地の手順に従って処理をしてください。
- ② 塗り材を取り除くまでの必要がない場合、下地全面にシーラーセットアップ(ウォールボンド工業)3倍希釈し塗布してください。
- ③ 下地に不陸がある場合は、乾燥後パテ処理を行ってください。
- ④ パテを塗布した部分が完全に乾燥後、パテの上にシーラーセットアップを3倍希釈し塗布してください。
※吸い込みが激しい下地やアクが強そうな下地の場合はパテ上だけでなく全面に塗布してください。
- ⑤ 完全乾燥させてください。
※「ウォールボンドEV-30」にて施工してください。

③ マグフレンズ(ホワイトボード・黒板共通)施工

ウォールボンドEV-30(ウォールボンド工業)使用の場合

- ①「マグフレンズ」を貼る際は、必ず下地ごとの適正な下地処理を済ませてから、
「ウォールボンドEV-30」原液を「下地側の貼る箇所(向こう糊施工)」にパテベラ・櫛バケ・櫛目ゴテなどを用いて塗りつけてください。櫛目が付いた物を用いると均一に塗布がしやすいです。目安の塗布量は200g/m²。
- ②ローラーで均一に塗りのぼして(オープンタイム不要)に「マグフレンズ」を貼ってください。
※「ウォールボンドEV-30」は向こう糊付け用(下地側に塗布する)接着剤なので、
材料への直接塗布のスペースを確保する必要は有りません。
- ③商品はロール状になっているので巻きぐせを取ってから貼ってください。
糊が材料の重さや巻きぐせに耐えられない場合は、周りを速乾ボンドで仮止めしてください。
- ④上からスムサーや撫で刷毛、ローラーなどを用いてシートの中央から外側に向けて
丁寧にエア抜きしながら貼り付けてください。ジョイントは突き付け施工としてください。
※ゴムシートのため吸水性・通気性が乏しいので、通常の壁紙のエア抜き以上に慎重に行ってください。

プラゾールSS(ヤヨイ化学工業)使用の場合

- ①「プラゾールSS」が施工する下地に適合してるか確認してください。
- ②「マグフレンズ」を貼る際は、必ず下地ごとの適正な下地処理を済ませてから、
「プラゾールSS」原液をローラーで均一に塗布し、5分ほどオープンタイムを取得した後貼ってください。
目安の塗布量は100g/m²。
※接着剤を塗布する際は均一になるように丁寧に塗布してください。均一でない場合オープンタイムを取っている間に
薄い箇所は乾燥して本製品の裏面(接着側面)とは接着せずに、その箇所が施工後のフクレの原因となります。
※「マグフレンズ」の接着面を#80程度のサンドペーパーで軽く目荒らしをすると接着強度が増します。
- ③商品はロール状になっているので巻きぐせを取ってから貼ってください。
糊が材料の重さや巻きぐせに耐えられない場合は、周りを速乾ボンドで仮止めしてください。
- ④上からスムサーや撫で刷毛、ローラーなどを用いてシートの中央から外側に向けて丁寧にエア抜きしながら貼り付けてください。
ジョイントは突き付け施工としてください。
※ゴムシートのため吸水性・通気性が乏しいので、通常の壁紙のエア抜き以上に慎重に行ってください。

④ 施工後の注意事項

- ①はみ出した、表面に付着した接着剤は直ちに清水またはアルコールで拭き取ってください。
- ②壁紙施工後は一週間程度は急激な空調の使用は避けて、自然換気に努めてください。

使用上の注意事項

- ①黒板シートを使用される場合、新しい状態ではチョークの文字が消えにくいので、まず最初に白色のチョークを横に寝かせて、黒板面にチョークの粉をこすり付けて、黒板消しで黒板面全体を一様に拭いて、チョークの粉を落としてからご使用ください。
- ②本製品は鉄粉を含んだゴムシートが素材です。冷蔵庫等製品と比較すると保持力は20~30%位とお考えください。
※マグネットを選ばれる際は強力マグネット(ネオジウムマグネット)をご使用ください。
- ③ジョイント部にマーカーやチョークの消しカスが入り込んだ場合は市販のボードクリーナー等で清掃してください。
- ④シート表面を硬い物でこすったり、鋭利な物で引っかいたりしないでください。マーカーのインクやチョークのカスが入り込み
汚れが消えなくなる原因になります。
- ⑤消字の際は、専用イレーザーや黒板消しのご使用をお勧めいたします。ホワイトボードにはホワイトボードマーカー以外のご使用
しないでください。但し、ホワイトボードマーカーは色・メーカーにより、成分と構成比率が異なりますので、マーカーの種類によ
りインクがはじいて文字がかすれたりしてきれいに書けなかったり、きれいに消せなかったりする場合があります。また、長時間
経過すると消しにくくなります。(剥離剤の層に顔料と樹脂の層が入り込む為)、汚れがひどくなった場合は、きれいな布を水で浸し
よく絞った後シート表面を水拭きしてください。イレーザーは使用により劣化してきますので消去性が悪くなる場合があります。
また、定期的に水洗いをするか交換をしてください。
- ⑥黒板シートにはカルシウムチョークをご使用ください。硬いセラミックチョークのご使用は消えにくく表面を傷つける場合があります。
黒板消しで文字を消去する場合チョークの消し残りがでる場合があります。その場合はきれいな布を水で浸しよく絞った後シート表面
を水拭きしてください。また、黒板消しは使用により劣化してきますので定期的に交換してください。
- ⑦紙等を多く重ねる場合はマグネットの強度をお確かめの上ご使用ください。
- ⑧本製品は、施工を容易(採寸カット、寸法変更が容易及び軽量)にするために開発されました。その為、表面に軟質フィルムを採用
しており、通常のスチール製ホワイトボードやスチール製黒板に比べ、表面の耐久性は劣ります。



 **株式会社 石山**

詳しくは <http://www.ishiyamanet.jp>

メールでのお問い合わせは info@ishiyamanet.jp

☎ **03-3874-8441** ☎ **03-3875-4845**

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-13-9

受付時間：8時30分～17時30分（土・日・祝日は除きます）

ご用命は